

■ -----
第 49 回日本小児内分泌学会学術集会
----- ■

【1. 症例から学ぶ小児内分泌学 入門編について（ご案内）】

皆様へ

この度学会期間中の 10 月 10 日土曜日の午前中に、外来診療に必要な小児内分泌疾患の基本的事項を学ぶビギナー向けの講座「症例から学ぶ小児内分泌 入門編」を以下の通りに企画しました。

このセミナーは、小児内分泌学会に入会していない初学者を対象とし、小児内分泌学に興味をもって頂くとともに、小児内分泌学会へも御参加頂き、入会を促す企画であります。

つきましては、先生方の身近にいる対象の先生方に宣伝頂き、事前登録をお勧め頂きますよう宜しくお願い致します。

日 時：2015 年 10 月 10 日（土）AM8:55～12:25 まで
場所・会費：タワーホール船堀・5,000 円。

※全て事前受付です。49 回学術集会の HP に 7 月にアップします。
※講義の終了後、ランチョンセミナー、教育講演などに参加も可能。

対象：初期研修医、後期研修医、まだ内分泌を専門としない小児科医師
（学会員の方は座席にゆとりがあった場合に会費を払い参加可能）

備考：講義で使用するスライドは事前にネットにアップの予定です。
（御自身で必要なら印刷してお持ちください。
49 回学術集会の終了後は、会員限定の HP に移動する予定です。）

【2. 厳正な査読の試みについて（ご案内）】

本年度も皆さまのお蔭で、一般演題は 309 題のご登録をいただきました。
多大なご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、第 49 回学術集会では、2 回の厳正な査読を実施し、
さらに上位 20 題の筆頭著者には、現在「二次抄録の作成」を依頼しております。

こうした試みは、今年度 4 月の理事会で今後数年間、学会としてこの方法で行うことを
決定しているものです（ただし来年は APPEP との合同開催のため微修正がありえます）。

その初めての試みである「厳正な査読方法」およびご協力いただきました査読委員のお名前、
また今後の二次抄録の査読方法について、下記にご案内させていただきます。

1) 第 1 回目の査読について

[評価方法]

採点は、3 段階（3 点、2 点、1 点）の相対評価（およそ 3 分の 1 ずつ）で行い、
309 題より上位 100 題を選定；実際には 104 題を選定。

3 点：高い評価

2 点：中ほどの評価

1 点：低い評価

[査読委員（計 18 名）]

下記 URL をクリックしてください。

URL : http://jspe.umin.jp/pdf/1sadokuiin_150706.pdf

2) 第 2 回目の査読について

[評価方法]

採点は、「新規性」「独創性」「方法の妥当性」「臨床的インパクト」「文章」の
5 項目に対し、7 名の査読者が下記 5 段階の「絶対評価」で行い、
104 題の中から上位 20 題を選定。

★★なお、第 2 回目の査読より、査読委員が筆頭著者・共著者に含まれないよう公正に査読委員
を配置。

本学会の口演として平均が3点です。

- 5点（極めて優れている）
- 4点（学会口演として平均以上）
- 3点（学会口演として平均）
- 2点（学会口演として平均以下）
- 1点（極めて劣る）

[査読委員（計43名）]

下記 URL をクリックしてください。

URL : http://jspe.umin.jp/pdf/2sadokuiin_150706.pdf

3) 二次抄録の査読について

二次抄録の査読は、本学会の「理事および学術集会長」が行います。
この査読も5項目に対する5段階の絶対評価で実施します。

また、査読委員が筆頭著者・共著者に含まれる場合は、査読を行わず、
平均点で最終点をつけ、上位10題を選定する予定です。

厳正かつ公開された査読方法で上位に選ばれ、学術集会初日の口頭発表における更なる厳格な評価の中で、
決定される「最優秀演題賞」「若手優秀演題賞」を是非ご期待ください。

□-----

第49回日本小児内分泌学会学術集会

会 長：長谷川 行洋（都立小児総合医療センター内分泌・代謝科）

日 程：2015年10月8日（木）～10日（土）

会 場：タワーホール船堀（東京都江戸川区）

テーマ：“会い、学び、教え、論ずる”

学会～次世代へ伝承「症例から学ぶ」～

ホームページ：<http://jspe49.umin.ne.jp/>

-----□